



さわやかサンデー 排水溝の清掃に汗 (御堀町内会)

大内御堀町内会(会長小林幹生)では、五月十三日、総出で町内の排水溝や下水溝などの清掃を行いました。これは、きれいで住みよい環境づくりを、毎年実施しているもので、一年間にたった土や空かんなどで汚れた溝が、すっかりきれいになりました。

町内の人達も、これで夏が迎えられると、汗したひたいも気持ちよく、さわやかな日となりました。六月五日から十一日までは「環境週間」です。住みよい環境をめざして、家の周囲をきれいに、さわやかな夏を迎えたいものです。

毎週月曜日は健康相談日

無料

市では、毎週月曜日午後一時から三時まで市役所市民ホール(議会議棟一階)で、保健婦による健康相談を行っています。対象は、乳幼児と一般。乳幼児は、身長、体重測定、育児指導、その他、一般は、血圧測定、検尿などです。相談は無料、測定などの結果は、記録されて残されます。

保健婦による

▷「その後、体調はどう」保健婦さんが親切に、健康の相談に応じています。



国民健康保険料

◆ 保険料の料率 ◆

	所得割	資産割	均等割	平等割
53年度	100分の6.9	100分の43	9,580円	13,650円
54年度	100分の6.4	100分の40	9,500円	13,600円

今年度の山口市国民健康保険料の料率が、上表のとおり決まりました。

今年度の料率は、昨年度に比べ、それぞれ若干引き下げられました。これは、昨年の医療給付費が見込みより少なかったことなどで繰越金が増え、負担を少くするために料率を引き下げたものです。

しかし、最高限度額は十九万

今年度の料率決まる 所得割〇・五%引き下げ

今年度の山口市国民健康保険料の料率が、二十二万円に引き上げられました。

保険料は所得・資産・世帯、被保険者数を基準に計算し、世帯ごとに賦課されます。

国民健康保険では、総医療費の四十五割を国の補助金、三十割を患者の自己負担、残り二十五割を加入者の保険料でまかなう仕組みです。

昭和五十四年度の山口市国民健康保険特別会計予算は、三十億五千三百余万円、これを国の補助金と保険料、市の一般会計からの繰入れでまかない、一方、歳出は、約九十四割を医療費などの保険給付費が占めています。

今年度の見直しは、保険加入者が約二万八千人、一人当たりの年間医療費は、平均で九万一千四百余円、前年度と比べ約十一割の増加が見込まれます。また、一人当たりの平均年額保険料は、料率を引き下げた結果、所得ののびなどを見ても、昨年と同程度の三万四千八百余円となる見込みです。

議長に中野正氏

市議会の構成決まる

選挙後の初めての臨時市議会が五月十五日に開かれ、正副議長のほか、市議会常任委員会の構成が、次のとおり決まりました。

なお、市議会議員選出の監査

委員には、田辺六三郎議員が選任されました。

- 【教育民生委員会】
- ◎小野 正広 ○野間 寛市
 - 合志 栄一 田辺六三郎
 - 杉山 勝良 児野 隆
 - 河村 四郎 勝谷 晃

- 【経済委員会】
- ◎竹内 勲 ○西村 静
 - 関光 章 野村 八十
 - 勝間田八郎 山本 勤
 - 兼重 元

◎大村 起夫 ○吉沢 栄



中野 議長



山副 議長

- 【建設委員会】
- ◎三輪 正明
 - 磯部 勝忠
 - 本永 正夫
 - 堀 憲匡
 - 阿武 悦郎
 - 松田 富夫
 - 秋本 邦彦

7月8日に 決まる

山口市長選挙

△注▽ ◎印は委員長 ○は副委員長

五月十四日開かれた山口市選挙管理委員会で、昭和五十四年七月十一日で任期満了となる山口市長選挙を、六月二十八日告示、七月八日選挙とすることが決まりました。

なお、立候補予定関係者への届け出要領などの説明会は、六月十六日午前十時から、市役所第一会議室(三階)で開かれます。

取扱いは、十五日から

市内の中小企業主のみならず、今年も、次のとおり夏場資金を融資します。

●目録額 五億六千万円

●対象 市内に事業所をもち、引き続き一年以上同一事業を営んでいる中小企業基本法に定める中小企業者で、市税を完納している中小企業者

●条件

- ・資金使途 運転資金
- ・融資限度 一企業四百万円以内
- ・返済方法 四か月以内で、一括返済とする
- ・貸付方法 手形貸付、または、手形割引
- ・融資利率 年六・〇割以内
- ・保証人 および担保

取扱金融機関の所定の方法による

●取扱期間 昭和五十四年六月十五日から七月十四日まで

●取扱金融機関 山口銀行市内各支店、山口信用金庫、吉南信用金庫本支店、山口相互銀行山口支店

●申し込み手続き 取扱金融機関の窓口へ、申請書(取扱金融機関へ備え付け)に、納税証明書を添付して、取扱金融機関の所定の方法により、申し込む。

中小企業主のみなさんへ 夏場資金を融資します

この融資は、市が、中小企業者の夏場資金の融資を円滑にするため、金融機関へ寄託をして、行うものです。

●中小企業季節資金—夏季分

- ・取扱期間 六月一日から八月三十一日まで
- ・日までの予定
- ・取扱金融機関 山口銀行、山口相互、広島相互、山口信用金庫、津和野信用金庫、朝銀山口信用組合
- ・問い合わせ くいこと は、県庁中小企業課(二二三) 一一一へ

●取扱期間 昭和五十四年六月十五日

(3)

育児のよき相談相手 32人、母子保健推進員へ決まる

このほど、今年度から二年間、山口市母子保健推進員をとめる三十二人が、次のとおり決まりました。

この制度は、「母子保健法」にもとづき設置されるもので、市や県の母子保健行政を地域で、実地に推進するものです。

推進員は市から依頼を受けた活動のほか、妊産婦や乳幼児宅を訪問し、保健指導や健康診断を受けるよう奨めるなどの日常活動をするものです。

核家族化の進展で、若いお母さんだけが育児にたずさわり、また、お母さん同志の交流もなくなり、育児環境がかあつたといわれる昨今です。こんな中で、ベテランお母さん達の母子保健推進員が、若いお母さん

ちの育児の相談相手として、その活動が期待されます。

- △秋穂二島▽藤田マサヨ(幸田)▽徳田マヌエ(南)▽下瀬晴子(二島)▽野間イツミ(岩屋)
- △白石▽有田春江(黄金町)
- △山口富美子(駅通り二丁目)
- △波多野麗子(龜山町)
- △大歳▽長田キヨ子(矢原町)
- △斉藤菊子(和田)
- △平川▽荒瀬ミツ子(台)▽重富邦江(小出)
- △嘉川▽井上初子(原桑西)
- △中原常子(中市)▽本間宣子(福岡)▽本間アヤ子(福岡)
- ▽渡辺ハル子(北の江東)▽松浦フサ子(寄江)
- △佐山▽中村キヨ子(佐山東)
- ▽上野真砂子(須川後)
- △陶▽西村タキノ(西陶)▽

重富公子(系根)▽藤井トシ子(丸尾)

- △秋穂二島▽藤田マサヨ(幸田)▽徳田マヌエ(南)▽下瀬晴子(二島)▽野間イツミ(岩屋)
- △鑄銭司▽松崎千里(今宿西)
- ▽品川ヨネ子(大村)▽本廣慶子(扇田)▽松村茂子(黒山)
- △仁保▽末永フミ子(野上)
- ▽増野タツコ(坂本)▽栗林留久子(東園)

宮野財産区議会議員 当選者が決まる

任期満了に伴う宮野財産区議会議員選挙は、五月十三日投票の予定でしたが、立候補者が定員いっぱい十二人で、十四日

児童手当の支払い

昭和五十四年六期(五十四年二分分から五月分まで)の児童手当は、六月十五日までに受給者の指定された口座に振り込みます。
なお、振り込み通知はしませんので、自分の口座で確かめてください。

新築の市営住宅 入居者を再募集

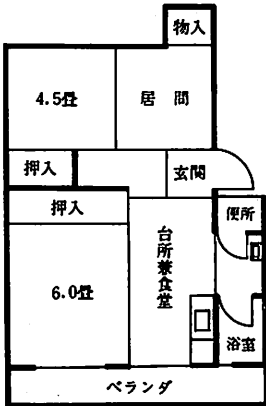
宮野

宮野下恋路に、六月末成予定の鉄筋コンクリート造り五階建ての第二種市営住宅の入居者を次のとおり再募集します。
○申し込み受付
六月七日から十五日まで、午前九時から午後四

時まで(ただし、日曜日、土曜日は十一時まで)市役所建築課で。なお、申し込み用紙は市役所受付、建築課にあります。
○家賃
月額二万四千元(見込)

み)約三千円の浄化槽維持管理費を含む。
○資格
市内に住所か、勤務場所を持つ人で、年間収入が、夫婦と子供二人の場合、二百五十万円以下

○部屋
下図の通り
○入居予定
七月上旬
○完成戸数
三十戸



市役所建築課 二四二二一

昭和54年度 広報広聴モニター決まる 市民も活用ください

このほど、昭和五十四年度の市の広報広聴モニターを勤められる十六人が、次のとおり決まりました。
任期は一年で、市政の世論調査をする、提言や意見を述べ、地域の話題などを通報するなど活動されます。
市民のみならず、市政に意

- 見・提言をする一方法として、モニターさんを活用ください。
- ▽仁保・桃林叔房(井開田東)・九一〇五一七)▽小崎・兼俊初枝(九区)・七七〇二八二〇▽大内・竹重勇二(上矢田)・七七一二二八)▽大殿・藤井美枝子(天花)・三一一二五〇)▽白石・徳本黎子(黄金町)・二一八〇九二)▽湯田・藤林孝(泉町)・二二四五七三)▽宮野・上田寿恵子(下恋路)・四一三七四〇)▽吉敷・石津花子(佐畑)・四一七〇五七)▽平川・清水ヒサエ(関)・五二三五八〇)▽大歳・長田キヨ子(矢原町)・四一五一三)▽陶・原田利清(郷上)・小郡二七七八六二)▽鑄銭司・古屋裕子(大村)・四三三三三九)▽名田島・河村茂春(西開作)・小郡二一五六〇八)▽秋穂二島・山根緑郎(称宜)・二二〇〇六)▽嘉川・益富嘉男(深瀬東)・嘉川三三五九)▽佐山・矢田部恵子(小路)・嘉川三二一四〇)

市制五十周年のあゆみ 写真展

市民ホール・中市の元郵便局前
昭和四年から現代までの行事・出来事などを全紙(約五十三枚、四十三枚)の写真百四枚を展示したもの。
昭元山口郵便局舎前
明治末から昭和二十年代までの商店街などの移り変わりを写真で示したもの。

今月のテーマ

水・水

六月一日から一週間は、「水道週間」です。暮らしの中の水の実態をよく知り、水の利用を改めて考えてみようというものです。

「水資源には恵まれている」といわれる山口市ですが、長期展望にたつと、これから対処しなければならぬ課題も多いようです。上水の水源を中心に、これらの実状の一端を紹介しましょう。

何気なく使う

水は、動植物の生存に欠くことのできないものです。そしてまた、人の生活に欠くことができず、生活には数えきれないほど

ど水が使われています。

水は比較的手近にあり、安価に手に入るため「何気なく使っている」というのが多くの人の実感ではないでしょうか。

都合の悪い自然の利用条件

水は、蒸発散と降水という単

純な循環をするものですが、利用の時期、形態、状態によって過不足を生じてきます。

山口市内の年間平均降水量は千八百ミリ程度ですから、年間六億四千万リットルの水が降る計算です。これを年間平均して使えば、不足はないのですが、そうはいきません。

まず、月別降水量の半数以上は、梅雨期、台風期に集中します。また、地形が比較的急で、川の流路は短かく、短時間のうちに海に流れでてしまします。多雨で水資源に恵まれてはい

ても、水を利用する立場からいえば、山口は誠に都合の悪い自然的条件にあります。

高まる上水源の需要

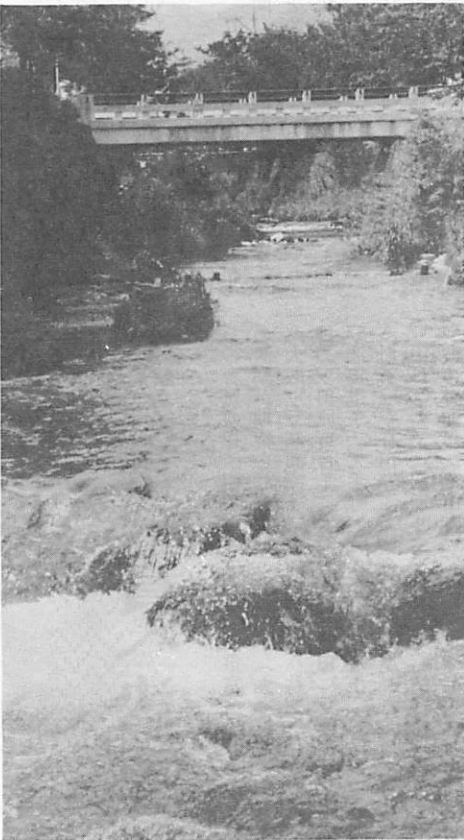
水の利用を大別すれば「上水、農業、工業用水の三つに分けることができます。」

まず、農業用水は、樞野川流域地域に二百余の取水口が設けられ、大小千百余の溜池によってまかなわれています。

これらは、祖先から営々として蓄積された偉大な社会的な財産で、非常に多面的に利用されているといえそうです。

工業用水道は、市内にはなく事業体は、井戸、伏流水などの

新しい発
ある。水の利用から
つくられる。時代へ



休みなく豊かな水を供給してくれる川、私達の生活に潤いも与えてくれます。よこさずに使いたいものです。(一の坂川)

独自の開発、上水道からの給水によっていますが、この量は、年々増加しています。上水道の需要は、年々増加の一途をたどり、市内で昭和五十二年度二万四千五百三十戸に、年間千八十六万三千リットルの水を給水しています。

知恵と施設

水は、年によって非常に過不足を生じます。多ければ、水害を招き、少なければ渇水、干ばつの事態を生じます。

水は、水量の確保はもちろんのこと、「安定的に供給する」

やまぐち357

自然
初夏の双子山

山口盆地をとりまく山々はそれぞれ美しい姿をしていて四季折々の風景はそのまま絵であり、詩であるといえます。その山のうちで、鴻の峰の西隣りに、円錐形の同じような二つの山が並んでいるのが双子山、その山容は昔から人目をひき、山口の人々に親しまれていました。一名兄弟山(おとどい

やま)とも呼ばれています。「ほととぎす鳴くや姫山双子山なかの清河鮎のびにけり」とうたわれているように初夏の双子山付近ではホトトギスの鳴き声がよく聞かれます。雑木の多い初夏の双子山は、それぞれの種類の木々の若葉が、微妙に色の変化をつくり、花よりも、もみじよりも違った明るく美しい景色をみせています。



市民
朝の定位置

交通指導員
一楽トシ子さん(40) 大内

このほど、交通指導員として、重富国雄さん(陶)とと



もに、交通安全県対策協議会長から表彰された一楽さん、毎朝、国道二六二号大内光円寺の交通指導に立たれます。市内十六人の交通指導員のうち、女性は一、ほほえみを絶えず、親切な指導は好評。通学路にあたる子供達は「緑のおばさん」と呼びます。「子供が可愛くて」と一楽さん。休むと「やめたかと思つた」と子供から苦情がでると話されます。

一楽さんがたたる朝の一時間の定位置は、一楽さんでなくてはならない指定席のようです。指導員として七年目、「体の続く限り、お役にたちたい」と控え目に話しておられます。

(5)

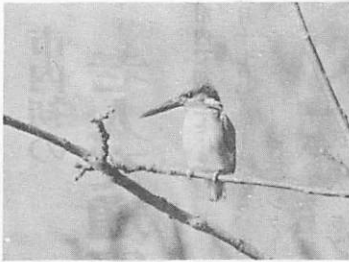
というのが、もう一つの絶対条件です。
どうしても、そこには、人の知恵によって、水を治め、活用する施設が必要となってきました。それが、ダムです。

期待される荒谷ダム

現在、天花に一の坂川ダム(貯水量百五十万ト)が、建設中です。このダムは、一の坂川の治水を目的としたもので、市街地内を流れる川の改修が、できないため、上流部にダムを建設、洪水調節と流量を維持し、川的美感を保つものです。

一方、宮野荒谷に計画中のダムは、有効貯水量四百九十五万ト、洪水調節、流水の維持、上水道用水供給の多目的ダムです。将来の水需要に対応する人の知恵と施設というわけです。荒谷ダムの完成予定の昭和六十年には、一日九万トの上水道水源として取水が可能となる計画です。

二・一倍になる上水需要
昭和七十年の上水需要は、給



かわせみの見ている雨の水輪かな
—米作—

山や野の緑は、梅雨を迎え、日々、濃さを増していきます。田植えや川漁などと、生活にも水の恩恵も深く、風俗、風物も夏姿に一変します。したたるような新鮮な季節の情感が漂う中で思っきり汗をかいてみましょう。

6月のこよみ

歯の衛生週間 4日~10日。6月4日の6はム、4はシ、ムシ歯にならぬよう心がけましょうというのが「歯の衛生週間」です。歯口清掃の習慣(歯みがき、口すすぎなど)を日常生活の中に定着させましょう。

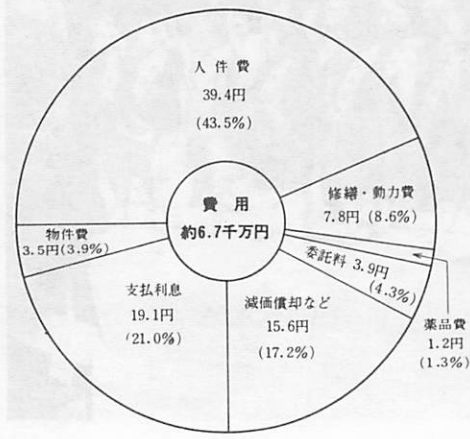
環境週間 5日~11日。1972年6月5日、国連人間環境会議で、「人間環境宣言」が採択され、5日を「世界環境デー」と定めています。お互いに環境の保全、改善を図るよう、よりよい環境の創出に努めましょう。

時の記念日 10日。正確な時間の観念を普及し、生活を合理化しようという趣旨で、大正9年に設けられた記念日です。時間の大切さを今一度、考えてみましょう。

入梅 11日。いよいよつゆに入ります。農家の田植えには、ほどよい雨ですが、大雨となると被害もでするので注意が必要です。

- 1日アユ漁の解禁、気象記念日、電波の日
18日父の日
22日夏至
28日貿易記念日

水1トン当たり 91円



水人口十三万三千人で、年間給水量で、現在の約二・一倍の量が見込まれています。
現在、山口市、小郡町とも、上水道水源は、伏流水源によっています。この伏流水源は、昭和五十六年の大内長野(日量七千ト)、昭和五十七年の大蔵岩富(日量一万二千ト)の開発計画が最後とさえいわれ、現在のところ、その他の伏流水源の開発計画はありません。
現在、山口市、小郡町、秋穂町

の一日の供給可能量は、約五万八千トで、これに対し、一日最大の需要量は、五万六千八百トとかなりさし迫った需給状況です。
右表は、山口上水道の昭和五十三年度の水の単価です。安いといわれる山口上水道の水でさえ、一ト当たり九十円余もしています。水は、資源的にも限界がありますし、費用の面でも、年々高くなっています。

これまで、山口市の上水道は伏流水を利用してきました。このため、おいしく、また、浄化、取水のための施設費用も少なくてすみ、安価で供給できたといえそうです。
しかし、これからは、貯水した水を安定的に流し、表流水を利用する時代に入ろうとしています。自然にある水を利用する時代から、利用する水をつくり出す時代を迎えようとしているといえます。

こんなムダが...
ボタボタ水 約一リットル
糸状の水 約八リットル
Image of two faucets dripping water.

やまぐち 357



昨年四月、小鯖正田山に県下で本格的な公営のものとして

施設
楽しみながら 体力づくり
市民野外活動広場

て初めてオープンしたこの施設、一年間で延約二万人の市民が利用しました。
正田山の山頂約千平方メートルの広場を起終点に、アカマツ林の中に、遊泳ネット、レンジャーロープなど十八の関門が設けられ、回数や時間を記録し自己採点をする仕組み。自然の中で、楽しみながら、体力測定と体力づくりができるものです。利用は無料。
△職員の声▽
スタート前に準備運動を十分にして、自分の体力に合わせて、トライしましょう。無理な挑戦は事故のもとです。
また、ゴミの持帰りは利用者のマナーです。

アイディアこみ箱
学生の町平川に、このほど珍しいゴミ箱ができました。このゴミ箱は、「平井を明るく豊かにする会」の一日清掃運動の一環として作られたもので、タマネギケースを利用したユニークなものです。
この会の会長荒瀬真雄さんにその理由をたずねたところ、できるだけ経費を節約し、なおかつ、清掃にも



便利なものを作ることで、会員同志で知恵を絞ったのが、この試作品とのこと。引き出し式になったゴミ箱の底には、穴も適当にあいており、がっしりした鉄骨の枠の足は、プロックで固められ、風雨にもびくともしません。
「三人寄れば文珠の知恵」まさに知恵は集めるものです。

市内初の

老人交通安全会が発足

市内で初めて……

五月十七日午前十時から、市福祉センターで、「大殿地区老人クラブ連合会交通安全会」の発会式が行われました。

お年寄りだけが自主的な交通安全会を結成したのは市内では初めてです。

大殿地区老人交通安全会発会式

この日、大殿地区内の十五の単位老人クラブから六十人が参加して、要綱を決めたあと、会長に山本市郎(85・古熊)大殿地区老人クラブ連合会長を選び、推進委員に大殿地区内の単位老人クラブ会長をあてることなどを決めました。

サビを磨いて……
あいさつにたった山本会長

は、「お互いに、足腰、耳、目など弱ってきた。このことは、わかっている。ところが、頭での自覚だけでは駄目で、交通事故に会ったら、とりかえしがつかないもの。頭で啓蒙、手足で行動、サビを磨いて、老人の交通事故の皆無を期そう」と力強く



発会後、早速横断歩道の渡り方、右見て左見て、もう一度と勉強する会員

みて、手を高くあげて」と交通警察官の指示で、正しい横断歩道の渡り方を隊列を組んでみんなで勉強をしました。
「動作を大きく、適確にやらなければならないなあ」というのが、会員の共通した感想でした。

くあいさつ。市、警察署、社会福祉協議会などのお祝いにかけつけた来賓から、大きな拍手を受けました。

早速、実地訓練……

会の結成を終えたみなさんは早速、街頭にて、山口警察署の交通警察官の指導で、交通安全実地指導訓練を受けました。横断歩道を渡る時、「左をみて、右をみて、もう一度左を

啓蒙活動にも……

今後、会では、交通安全教室、座談会を開くほか、交通安全の一般への啓蒙運動へのり出すことになっていきます。
いわゆる「守りの交通安全」から自分自身も勉強、実践するともに一般の人へも交通安全を呼びかけ「攻めの交通安全」に踏みこもうというわけです。

老人自からが 攻め、の交通安全へ

「交通弱者」の両方に組織……
よくお年寄りと子供は、交通弱者といわれます。車対人、車対自転車、老人、子供は、対応がおそく、交通事故を起こしやすいということですが、事実、昨年の市内の交通事故死の半数近く、重傷者の四割近くは老人、子供で占めています。

大殿地区は、昭和五十二年九月、交通少年団が結成され、正しい交通ルールの実行で後輩を導く実践活動を行っています。

家庭への

大殿地区老人交通安全会は、「幸い、近年、地区内でお年寄りの大きな交通事故はないが、市街地だけに「危ない」と感じられた例は多いと思う。老人自身が立上ったのだから、私もできるだけ手伝いたい。私は家庭内への拡がりを期待している」と話しておられます。

十五回

県愛育大会講演会

- 日時・場所 六月十一日午後「親子関係とつけ」前十時から、市民会館
- 講演 高橋種昭(児童心理学者)
- 講演 午前「母の心子の心」高田敏子(詩人)
- 聴講は無料
- 主催 山口県、共催 山口市

記念講演会

- 山口市制五十周年
- 県地方史学会創立二十五周年
- 日時 六月三日午後一時から三時まで
- 会場 県視聴覚センター
- 講演 「明治維新と奇兵隊」 北海道大学田中彰教授
- 一般市民の来聴歓迎

中央公民館

初心者向けの講座・教室

- △日本画入門▽ 八月まで毎週火曜日午前十時から。受講料月千三百円材料費実費
- △ペン習字入門▽ 八月まで毎週金曜日午前十時から。受講料月千三百円材料費実費
- △池坊 八月まで毎週火曜日午前十時から。受講料月千三百円材料費実費
- △草月流 六月六日開講、毎月第一・二・三水曜日午後六時から。対象は、一般市民の初心者(経験者も可)。受講料月千円(経験者千三百円)、材料費実費
- △華道入門▽ 申し込み、問い合わせは、中央公民館電二〇三八一へ

(7)



▷メモを片手に、熱心に見学
「中日友好の船」訪日代表団の一行のうち、約二百人が五月十一日市内施設を見学、メモを片手に「熱烈学習」をしました。(県公害センターの見学)



△さつき晴れに響く元気な気合い

5月5日こどもの日に、市剣道連盟主催の少年剣道祭が児童文化センター広場で開かれ、剣道スポーツ少年団の豆剣士180名が参加して、個人戦や源平合戦が行われ、元気な気合いが空に響いていました。

▷子供みこしが登場

地区民の親睦と心の触れ合う場として5月20日、白石町内親睦大運動会が小学校で開かれた。市制50周年を記念して、子供みこしや仮装行列なども参加。運動場一ぱいに子供達の元気な掛け声が響きわたり、運動会は一段と盛り上りました。



カメラ



▷競技にハッスル
五月十三日県陸上競技場で、お年寄りと身体の不自由な人の体育大会が開かれ、個人、団体競技にハッスル、終日楽しく過ごしました。

▷すっきりきれいな川に
五月二十日樺野川漁協の主催で関係者四百人が樺野川一円の清掃を実施。投げ捨てられた空き缶やビニール類約四トを回収、きれいな川になりました。



同和問題を考える

三年一組では、こまっていたことや、みんなに聞いてほしいことを、学級会で発表することにしています。

今週の学級会では、次のようなことが発表されました。

算数の時間が終わったあとのことです。

「あっ、まちがってらあ」

「こんなみやすいのがわからんのかあ」

川上君をとりまいて、みんながくちぐちに言いました。川上君は、

「うるさい、ばかー」と言って、算数のプリントをぐちゃぐちゃにしました。ゆかに投げつけました。

昼休みに、石田君達とテニスをしていると、川上君が小石を投げてきました。「なんで石を投げるのかあ。あぶないじゃあないか」と言うと、川上君は、「うるさい」と言って、にげていきました。

石田君は、「なんで投げたのかお、なんにも悪いことはしていないのに」

と言いました。しかし、ぼくは「ほんとに

なにもなかったらどうか」と考えこんでしまいました。(中山進)

以下省略

川上君の行動の原因は、本人の責任というより、彼を取り巻く級友の不用意な言動によるものです。

不用意な言動が、いかに人の心を傷つけ、悲しませるかということを理解させると共に、差別扱いを受けた本人が劣等感を抱いたり、また、それを周囲の友だちが見過ごしたりすることなく、常に自分の学級の問題としてとらえ、勇気をもって訴え、解決の方向へみんなを取り組むよう導くための資料です。

小学校同和教育資料「なかよし」(2)

相手の身になって

「ばかにする人が悪い」と、安易にかたづけられることなく、自分たちの日常生活の事例に結びつけ、日ごろの言動が、ほんとうに相手の気持ちや立場に立っているかどうか謙虚にふりかえらせ、友だちの願いや要求をみんなの問題としてとらえ、学級全体で解決していく態度を養成していくことが大切です。

この資料は、三・四年の特別活動(学級指導)で指導されるものですが、家庭の中でこうした問題を親子で話しあうことも、同和问题解決のための立派な実践活動です。

■不燃物の収集日

- 6月 平川12日、大内14日、小鯖18日、吉敷19日、大歳21日、仁保26日、宮野28日
- 7月 嘉川2日、佐山3日、名田島・秋穂二島4日、陶・鑄銭司5日

■胃がん、循環器検診



6月5日、日赤山口県支部、6月7日、8日、市役所市民ホール。いずれも、受付は午前8時30分から9時30分まで。

料金、胃がん1,700円、循環器460円。胃がん検診者は、当日の朝、食事、たばこ、あじみなどをしないこと。

ツベルクリン反応検査 BCG接種

- ◇対象 ツベルクリン反応検査を受けていない4歳満の乳幼児
- ◇料金 無料

場 所	実施月日		時 間
	ツ	BCG	
県薬剤師会館	6.12	6.14	13.30~14.30
市福祉センター	6.13	6.15	9.30~10.30
市役所市民ホール	6.13	6.15	13.30~14.30
仁保生活改善センター	6.12	6.14	13.30~15.00
小鯖公民館	6.13	6.15	13.30~14.30
大内出張所	6.13	6.15	13.30~15.00
宮野出張所	6.12	6.14	9.30~10.30
吉敷出張所	6.26	6.28	14.00~15.00
平川出張所	6.21	6.23	13.00~14.00
大歳出張所	6.25	6.27	13.00~15.00
陶 公民館	6.27	6.29	13.30~14.30
鑄銭司相川病院	6.20	6.22	14.00~15.00
名田島公民館	6.19	6.21	14.00~15.00
二島公民館	6.13	6.15	13.30~14.30
嘉川公民館	6.20	6.22	13.30~15.00
佐山公民館	6.13	6.15	13.30~14.30

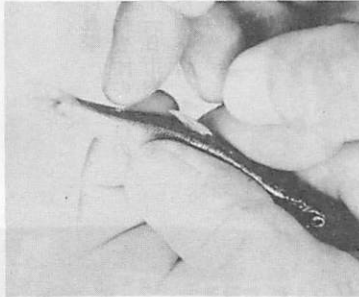
6月1日~20日

線路に入らない運動

小郡鉄道公安室管内で、昨年度99件の事故が発生しています。子供の線路の立入り置石と踏切り事故が大半で、10人が死傷しています。

鉄道事故は、重大事故につながります。線路内には、絶対入らない、踏切は、必ず止まって、安全を確かめて渡ることを励行しましょう。

特に子供には、このことをいきかせておきましょう。



放流された稚アユ、人差し指のところが、目印として切り取ったアブラビレ。

放流したアユが、どのくらい自然の中で生き残るかを調べるため、五月一日、三和町井手ガ原の榎野川で、山口大学と県内海産物センターの学と県内海産物センターの手でアユの稚魚の放流が行われました。

尾で、背ビレと尾ビレの中間にあるアブラビレを切り落とし、目印をつけています。この調査は、放流魚の回遊性や歩留まり、成長など見られるもので、このアユを捕獲した人は、榎野川漁協(☎五〇六一六)へ場所、月日、体長を連絡ください。

ア○ブ○ラ○ビ○レ○の○な○い○ア○ユ○
と○つ○た○ら○漁○協○へ○通○報○を○

県立山口図書館・文書館の資料整理のため、休館資料整理のため、休館

六月三日から十二日まで、春季の資料整理点検のため、県立山口図書館・文書館および視聴覚センター(音楽資料室、視聴覚資料室)は、閉館します。

知事への提言のテーマ
前期 交通安全対策
県では、五十二年度から「知事への提言」制度を設けています。このほど、そのテーマが、次のとおり決まりました。

八月まで
「交通安全対策—こうしたら—」(老人、子供、自転車)
十月から一月まで
「あたたかいふるさとづくり」市役所市民課前においてある「知事への提言箱」へ投函するか、県庁中央県民相談室へ郵送する。

「50年のあゆみ」訂正
このほど発刊しました「50年のあゆみ」の歴代市議会議員、一期田口光蔵氏は、光三の誤り、二期勝谷勇氏(昭和四十年八月九日繰り上げ当選)がぬけていました。

六月一日に
商業統計・商業実態調査
六月一日現在で、商業の国勢調査ともいうべき商業統計調査(全商店対象市内約二千八百)と一部の商店では商業実態調査が行われます。

- 国家公務員中級(短大・高専)募集
 - 試験 一次9月2日広島市
 - 資格 昭和27年4月2日~35年4月1日までに生まれた人
 - 受験手続き 所定の申込用紙で、6月6日から13日までに、広島市八丁堀6-30人事院中国事務局(☎0822)28-1183へ。
 - くわしいことや、申込用紙請求も同事務局へ。
- 青少年非行防止ポスター・標語を募集
 - ポスター 小・中学生、高校生に限る。四切画洋紙使用。裏に学校、学年、氏名、住所を明記。
 - 標語 資格に制限なし。葉書1枚に1標語を記し、住所、氏名、年齢職業または、学校名、学年を明記。応募は、6月10日までに、滝町1-1県庁県民生活課へ。
- 和文タイピスト検定試験
 - 日時 7月1日午前9時から
 - 場所 山口高校、山口職業訓練校
 - 資格 制限なし
 - 受験手続き 所定の申込書に、必要事項を記入し、受験料をそえ、6月18日までに、中央4丁目5-11山口商工会議所(☎5-2300)へ
- 海外移住の説明と相談会
 - 日時 6月7日午後6時から
 - 場所 センタービル(中央3丁目)
 - 説明 オーストラリア・カナダ・ブラジル移住の現況、資格条件と手続
 - 相談 移住希望者と個別相談
 - 主催 国際協力事業団広島支部
- ガリ版づくり夏季共同学習会
 - 日時 6月8日開講、7月8日まで6回開く。時間は午後6時30分から7月8日は午前10時から。
 - 会費 600円(別に材料費300円)
 - 講師 藤井雅信先生
 - 申し込み、詳細は、市中央公民館(☎②-0381)
- 市制50周年記念事業資金寄付
 - ▷A氏(仁保)2万円

6月の休日当番医	日	外科系		内科系		外科系		内科系					
		病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話		
	3	柴田外科	山口2-1012	美澄病院	山口2-2285	吉武医院	秋穂 2330	河端内科	小郡2-3820	阿知須共立病院	阿知須2200		
	10	佐々木外科	山口2-2537	牧野医院	山口2-0885	林病院	小郡2-0411	岡村医院	小郡3-2053	賀屋医院	二島 2033		
	17	外河脳外科	山口3-1333	本永内科医院	山口5-7001	阿知須共立病院	阿知須2200	岡村医院	小郡2-2388	村田医院	嘉川 2510		
	24	林外科	山口2-0139	山県医院	山口2-0206	嘉村外科	小郡2-2513	池田医院	小郡2-1002	藤井医院	二島 2002		